

新潟市中之口農業体験公園管理 事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日

施設名	新潟市中之口農業体験公園		
団体名	特定非営利活動法人はぎなみき中之口		
団体所在地	新潟市西蒲区東小吉 7 7 5 番地 1		
代表者名	山澤 啓一郎	設立年月日	H23 年 9 月 20 日
電話番号	025-375-2505		
F A X 番号	025-375-2585		
E メール	nknkcnoutaikouen@sage.ocn.ne.jp		

新潟市中之口農業体験公園運営上の基本方針

中之口農業体験公園の運営にあたって下記の基本方針に基づいて実施する。

公園の施設や機能を十分に活用し、農業体験の場を提供するとともに多種多様なイベント等を開催し誘客に努めます。

また、地域の魅力及び農産物の栽培方法や日常管理の情報提供に努めます。

なお、施設内にアンケート用紙を常設し、常に利用者の声を聴き、適切な管理運営を行います。

(1) 市民農園

「市報にいがた」でPRするとともにパンフレットやホームページ等の媒体を活用し利用促進を図るとともに、利用者の利便性向上のため、栽培面における相談・指導体制の充実に努めます。

(2) 体験農園

栽培作物について栽培期間、連作の影響を考慮することはもちろんのこと、利用者が興味を持つ作目選定により楽しく農業体験ができるよう努めます。

(3) 公園エリア

来園者が楽しく利用できるよう、安心安全な維持管理に努め、イベント等を開催し来場者の増加を図ります。

(4) 交流室

地域住民に対する誇りと愛着の醸成を図り、地域の魅力を発信する場として地域の特産物の宣伝に活用するほか、自主事業として直売所を運営し集客に努めます。

(5) 調理室

郷土色豊かな料理教室を開催し、施設の有効利用、集客に努めます。

中之口農業体験公園の経営方針

- ①施設を有効活用した農業体験や教室を開催し積極的な稼働に努めます。
- ②地域の交流拠点として、特産物の販売や宣伝に努めます。
- ③利用者の便益を図る物産の販売を行います。
- ④新潟市西蒲区ならではの食材を利用した情報を提供します。
- ⑤地域の活性化を図る観点から、地域の農業・商業・各種団体と連携を図ります。

公園運営事業の概要

【公園運営事業】

地元の伝統芸能や文化の伝承・保存などにつながるような、地域の持つオリジナル性（水田・畑地・果樹畑・伝統など）を生かした事業を開催します。

- 1 市民農園使用者増加対策（市報やチラシによるPRなど）
- 2 体験農園事業「普通畑」（各種野菜や花の播種・植付け、管理、収穫体験）
- 3 体験農園事業「水田」（コシヒカリの田植え・稲刈り・はざかけ体験）
- 4 伝統文化を活用したPRイベント（門松作りなど）
- 5 施設のPRを図るためのイベント（農業祭など）
- 6 自主事業（直売所の運営、自動販売機の設置、食と農の学校週末農業体験教室）

平成28年度事業計画

体験しやすい農業情報の発信に努め、地域の魅力を生かしたイベントの実施、企画、特産品のPRなどオリジナル性に富む賑わいの場を創出し来場者の増加につなげます。

事業計画

【市民農園】

市報やチラシによるPRはもちろんのこと、農業体験の場や色々な機会に話をし、使用者の増加に努めます。

【農業体験】

4月 体験農園【家庭菜園コース】（隔週土曜日、ミニ講座付）

（トマト・ナス・ピーマン・パプリカ・オクラ・ズッキーニ・スイートコーン・モロヘイヤ）

苗植付・管理・収穫の8回体験

募集組数5組（10人）

10人×8回＝80人（延べ人数）

- 4月 体験農園【長期保存型野菜コース】
 (ジャガイモ・サトイモ・サツマイモ・カボチャ栽培)
 苗植付・管理・収穫の5回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 5回 = 100人$ (延べ人数)
- 5月 体験農園【豆ざんまいコース】(枝豆・落花生栽培)
 苗植付・管理・収穫の8回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 8回 = 160人$ (延べ人数)
- 5月 体験農園【夏野菜・果物ミネラルジュースコース】
 (小玉スイカ・メロン・スイートコーン栽培、桃・梨管理作業・収穫)
 苗植付・管理・収穫、袋かけ・収穫の6回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 6回 = 120人$ (延べ人数)
- 5月 体験農園【切花コース】
 (トルコギキョウ・アスター・ケイトウ・ミニヒマワリ栽培)
 苗植付・管理・収穫の4回体験
 募集組数5家族(10人) $10人 \times 4回 = 40人$ (延べ人数)
- 5月 体験農園(米栽培) 田植え・稲刈り・はざかけの2回体験
 募集組数20組(40人) $40人 \times 2回 = 80人$ (延べ人数)
- 5月 体験農園【栄養野菜シーズンコース(抗酸化作用野菜)】
 (春夏:ナス・トマト・ピーマン・パプリカ・ホウレン草・人参・モロヘイヤ栽培)
 (秋冬:大根・白菜・リーフレタス・ホウレン草・人参・ゴボウ・春菊栽培)
 苗植付・管理・収穫の8回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 8回 = 160人$ (延べ人数)
- 8月 体験農園【野菜中心食生活コース】
 (ホウレン草・人参・大根・白菜・レタス・キャベツ・長ネギ・ブロッコリー栽培)
 苗植付・管理・収穫の3回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 3回 = 60人$ (延べ人数)
- 8月 体験農園【雪下野菜コース】
 (ホウレン草・キャベツ・人参・長ネギ・プチベール菜の花栽培)
 苗植付・管理・収穫の4回体験
 募集組数10家族(20人) $20人 \times 4回 = 80人$ (延べ人数)

8月	農業体験【球根花コース】 (ユリ・チューリップ栽培) 苗植付けなど5回体験 募集組数5家族(10人) 10人×5回= 50人(延べ人数)
9月	体験農園【秋おまかせお楽しみコース(サラダ・麻漬け用)】収穫体験のみ (大根・小松菜・ホウレン草・カブ・人参・レタス・イタリア野菜収穫) 2回体験 募集組数5家族(10人) 10人×2回= 20人(延べ人数)
9月	体験農園【越冬春採り野菜コース】 (ニンニク・タマネギ・長ネギ・春ブロッコリー・春キャベツ・ニラ) 苗植付・管理・収穫の5回体験 募集組数10家族(20人) 20人×5回=100人(延べ人数)
9月	農業体験【イチゴコース】(イチゴ栽培) 苗植付・管理など3回体験 募集組数10家族(20人) 20人×3回= 60人(延べ人数)
	募集組数計 120組 延べ人数計 1,110人

【料理教室】

4月	飾り寿司・細巻寿司教室	12人
5月	中之口の郷土料理教室	12人
6月	笹だんご教室	14人
7月	ナスと胡瓜の夏バテ解消料理	12人
8月	いか飯教室	12人
9月	米粉のロールケーキ教室	12人
10月	家族で作る郷土料理教室(小学生親子・小学生と祖父母)	12人
11月	白菜キムチ教室	12人
12月	白菜キムチ教室	12人
1月	辛子巻き・乾物料理教室	12人
2月	味噌作り教室	18人
3月	味噌作り教室	18人
	計	158人

【施設PR業務】

8月	白なすの収穫加工体験	20人
8月	納涼まつり(中之口地区コミ協と共催)	500人
10月	園児野菜収穫加工体験(さつまいも・じゃがいも・人参など)	30人

10月	ふるさと健康ウォーク（中之口地区コミ協と共催）	150人
10月	農業祭（JA 中之口支店と共催）	700人
10月	ハロウィンカボチャコンテスト	200人
11月	ミニストール作り	10人
12月	香りのリース作り	10人
12月	門松作り	10人
	計	1,630人

【農園相談・指導事業】

7月～8月	秋作野菜個別相談会（市民農園利用者）	20人
2月～3月	春作野菜個別相談会（市民農園利用者）	20人
4月～3月	野菜作りに関する相談・指導	80人
	計	120人

【自主事業】

4月～3月	自動販売機の設置（2台）：公園利用者の利便性向上	
4月～3月	直売所の運営	20,000人
4月2日・3日	直売所はぎなみき1周年イベント	400人
	計	20,400人
	合計	23,418人

平成27年度来場者実績（見込）

1. 来場者目標 施設来場者 21,000人 うち体験教室、イベント参加者 2,000人

2. 来場者実績（見込）

施設来場者 34,000人 うち体験教室、イベント参加者 2,300人

平成28年度～31年度（4年間）来場者目標と来場者対策

1. 年度別来場者目標

平成28年度	施設来場者 35,000人	うち体験教室、イベント参加者 3,700人
平成29年度	施設来場者 36,000人	うち体験教室、イベント参加者 3,800人
平成30年度	施設来場者 37,000人	うち体験教室、イベント参加者 3,900人
平成31年度	施設来場者 38,000人	うち体験教室、イベント参加者 4,000人

2. 集客対策

農業体験事業や料理教室事業を積極的にPRするとともに、自主事業である直売所の運営にも力を入れ、農業体験公園施設を十分に発揮できるイベントの充実を図り、農業体験公園利用者の増加に努めます。

管理経費削減の取組み

管理経費削減のため、次の2点、人件費と管理費について下記の通り実施します。

①人件費

人件費については、施設の管理に適正な人員配置と効率的な勤務体制に努め人件費の削減に努めます。

②管理費

管理費については、光熱水費の電気・ガス・上下水道費などの経費節減に努めるとともに、公園の管理経費についても農業体験公園の特殊性を考慮しつつ節減を図ります。

個人情報の保護関係

1. 個人情報の保護方針

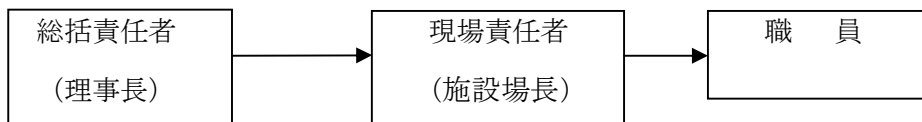
新潟市個人情報保護条例を準用し適正に対応します。

施設職員に対する個人情報保護教育を行い、中之口農業体験公園の管理に関する協定書はもとより、各種の法令を遵守するとともに守秘義務を徹底します。

職員に個人情報の基本を教育し、関係書類などの漏えい防止に努めます。

2. 個人情報の管理

(1)管理体制



(2)個人情報の範囲

利用者申込書など利用者が記入した全ての書類及び電話受付・来場等で得た全ての情報。

(3)利用の制限

前(2)により知り得た個人情報は、中之口農業体験公園の利用、施設管理以外は利用しない。

3. 個人情報の取扱い

- (1) 施設管理に当たり保有した個人情報は、漏えい・改ざん・滅失及び、棄損の防止の徹底を図ります。
- (2) 施設の管理業務に従事している者又は従事していた者は、その業務に関し知り得た情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。

4. その他

指定管理者として、施設の管理にかかる情報を適正に管理します。

環境保護関係

- ・ごみは、新潟市の10種13分別に区分し、リサイクルできる資源ごみ・燃やすごみ・燃やさないごみの分別を徹底します。
- ・ごみを出さない事業運営やイベントの開催に努めます。
- ・リサイクル製品の利活用に努めます。

人材育成関係

施設利用者のサービス向上・職員の資質向上を図るとともにサービス体制の充実、施設の安全・衛生管理を図れるように下記のとおり研修を実施します。

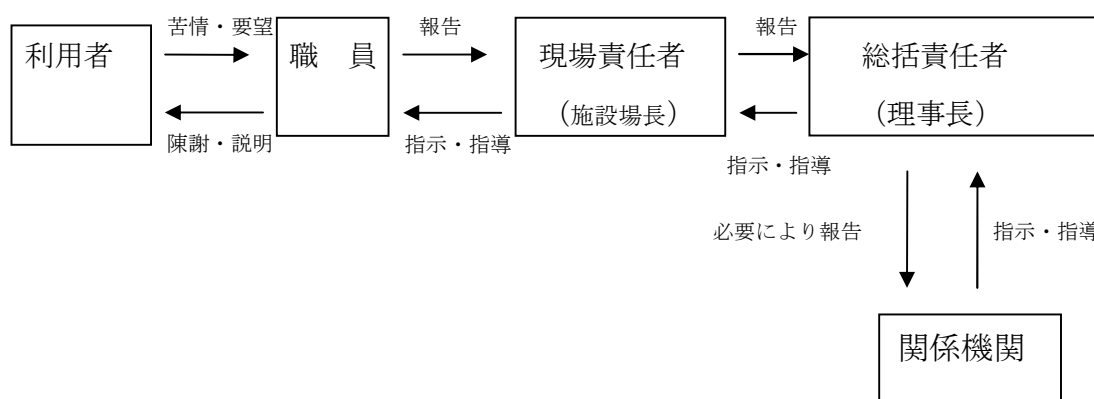
- ① 毎週の朝礼で職員全員による接遇・挨拶の励行。
- ② 類似施設の管理運営視察研修を実施します。
- ③ 年2回の消防避難訓練を実施するとともに、事故・災害時には対応マニュアルに基づき行動し、来場者や職員の人命の安全・二次災害の防止に努めます。

要望・苦情対応

1. 対処方法の基本

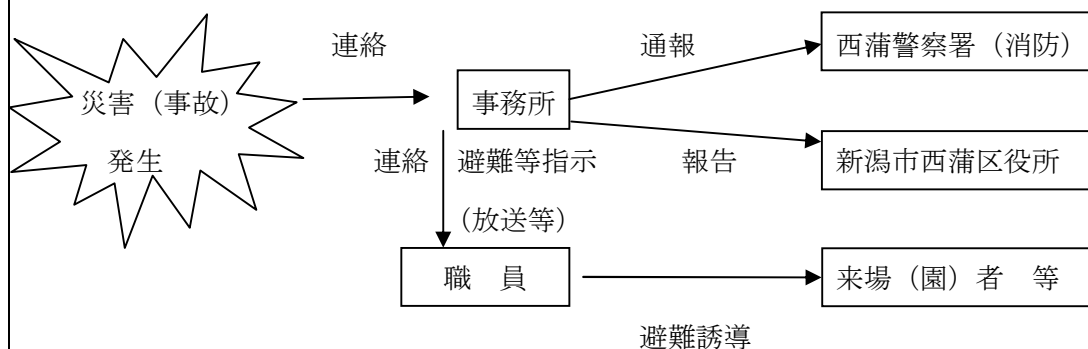
- (1) 利用者とのトラブルを未然に防止するため、職員研修等による接客マナーの向上を図ります。
- (2) トラブルの発生原因となる施設設備の不備・損傷の点検・整備により、未然防止を図ります。

2. 対応フロー



緊急時対策

1. 災害発生時及び事故発生時の対応

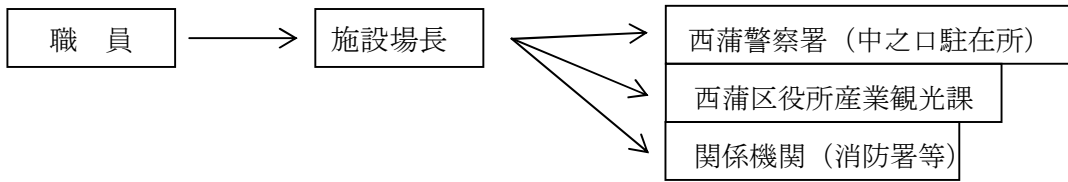


2. 事故防止の方策

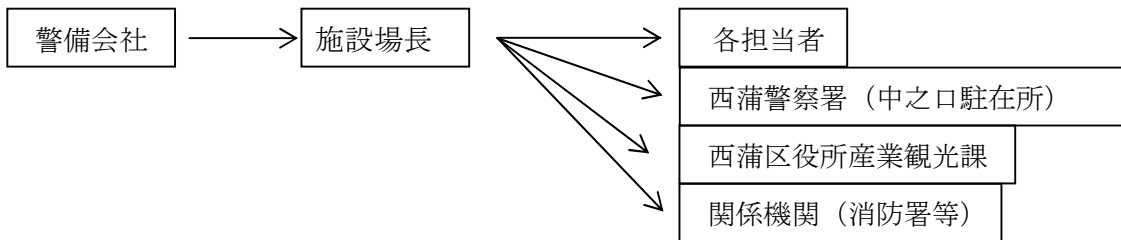
- (1) 施設管理・運営に当たっては、地元西蒲警察署（消防等）はもとより、警備会社・新潟市との連携を密にして事故の未然防止に努めます。
- (2) 年2回の消防避難訓練を実施するほか、各種会議を開催する場で事故防止に関する意識の啓発に努めます。

3. 緊急時の連絡体制

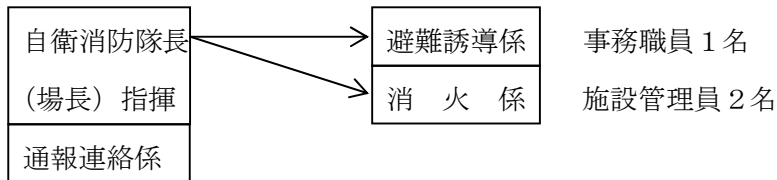
【運営管理時間内】



【管理運営時間外】

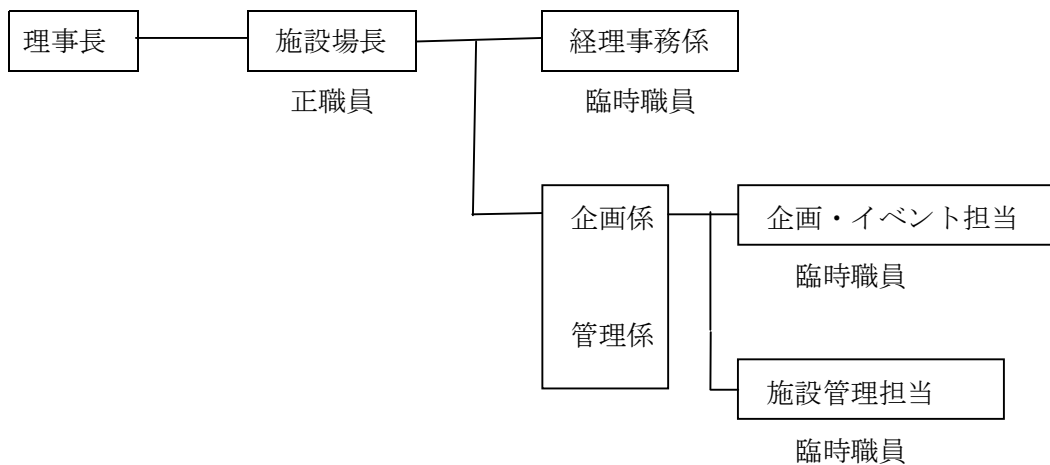


【火災発生時】 自衛消防隊を組織し、緊急時に対応する。



職員の配置（職種，人数，雇用形態，資格，技能，経験など）

はざまみき中之口の組織



施設の管理運営は、それぞれ担当者が中心となって行うが、来場者の状況により職員全員が協力体制をとる。

効率的な事業計画（周辺施設との連携）

周辺施設の紹介を積極的に行い公園来場者の増加に努め周辺地域の活性化を図るとともに、澤将監の館、新潟市岩室観光施設、新潟市食育・花育センター、越後中央農業協同組合中之口支店、中之口地区コミュニティ協議会等と効果的な連携を図る。また、施設機能を十分に活用したイベントや教室を開催する。

農業体験への取組み

農業体験公園という特殊性から中之口地域との連携・協力による活動はもちろんのこと、中之口のもつ農村風景や伝統文化など地域資源を活用した各種事業を開催します。

また、新潟市食育・花育センターなど市内の関連施設や行事情報、「農業」に特化した施設として、分かりやすい農業体験情報を発信します。

また、都市との交流や農業を中心とする産業支援をすることで、施設の利用者増加を図り、地域の活性化に努め、地域の魅力を活かした季節感の演出、イベントの企画充実などを行います。

施設のPR

事業の充実を図り、農業体験事業の開催や農業イベント情報の発信、特産品の紹介など施設機能の利用PRに努めます。

PRの方法は、新聞・テレビ・ラジオなどの報道機関、区報や市報にいがた、ホームページ等を活用して行います。

イベントのチラシは事業ごとに、施設のPRはパンフレットにより年間を通して行います。

配置場所は、市の施設や周辺市町村などできるだけ多くの場所へ配置します。

管理事業の取組み

施設管理にあたっては、下記の基本方針に基づいて実施します。

- ① 施設管理については、施設利用者が平等かつ公平に利用ができるように配慮、工夫します。
- ② 施設管理運営に当っては、施設の効用を最大限に発揮できるように努めるとともに、管理経費の節減が図れるように最大限努力します。
- ③ 施設の管理者として、常に安全管理・衛生管理に配慮するとともに、緊急時における体制作りを徹底します。
- ④ 施設利用者のサービス向上のために、職員研修等（接客・消防訓練）を実施し、サービス体制の充実を図ります。

自主事業の内容

地域のもつ美しい農村風景などの資源を最大限に活かし、都市との交流や農業を中心とする産業を支援するために自主事業を実施する。

【直売所はざまみきの運営】

1. 目的

地元農家や加工品等の製造者と連携し、農業を中心とした地元の特産品の直売を行い、交流人口の拡大と住みよい地域の創造に寄与する。

2. 営業計画

- (1) 営業日数 年300日（毎週水曜日休業、ただし水曜日が祝日の場合は木曜日休業）
- (2) 営業時間 午前10時～午後4時30分
- (3) 販売手数料 ①NPO法人会員 15% ②非会員 25%
- (4) 販売スタッフ 1名
- (5) イベントの開催
 - ①1周年イベント 4月2日（土）・3日（日）
 - ②直売所を主としたイベントの開催 随時

【自動販売機の設置】

〔設置台数〕 2台 〔売上収入見込〕 120千円